

教育講演会

ニイルの教育思想と 子どもたちの村

2019年
7/20(土)
13:00~15:00



講師 堀 真一郎

学校法人きのくに子どもの村学園長
元大阪市立大学教授
福井県勝山市出身



会場

かつやま子どもの村小・中学校
ミーティングホール

参加費

無料(どなたでもお越しいただけます)

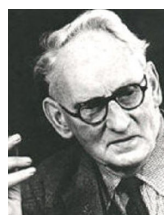
学校法人きのくに子どもの村学園

授業の半分が木工・建築・栽培・料理・演劇などの体験学習、クラスに学年の壁がない、学校のルールや行事は全校集会で決める、宿題もテストもない、イギリスでも活動する…など、これまでの学校教育とは異なった方針をもつ新しい学校です。A.S.ニイルにくわえて、アメリカのJ.デューイ、スコットランドのJ.エッケンヘッドの考えも取り入れ、「毎日が楽しい」と感じながら成長できる子どもを目標としています。

1992年に和歌山県で「きのくに子どもの村小学校」が誕生、その後も福井県勝山市の「かつやま子どもの村小・中学校」をはじめ、福岡県、山梨県、長崎県にも相次いで開校し、現在は小学校・中学校・高等専修学校を合わせて、10校で600人以上の子どもが楽しく学んでいます。



A. S. ニイル (1883-1973) とサマーヒル



イギリス、スコットランド出身。幼少期は学業が振るわなかったものの、小学校で勤めたあと、一念発起してエジンバラ大学に入学します。1921年に、ドイツのドレスデンで国際学校を設立、3年後にイギリス国内でサマーヒル・スクールを開校します。

子どもたちが、親や教師や社会から押しつけられた禁止、理想、道徳などから解放されて、自分自身の生き方を築くための教育を実践しました。このサマーヒルは「世界でいちばん自由な学校」ともいわれ、授業への出席が強制されない、校内の問題を全校集会で話し合う、などの大胆な方針を、約100年間、現在まで貫いています。



主催 学校法人きのくに子どもの村学園 かつやま子どもの村小・中学校

〒911-0003 福井県勝山市北谷町河合5-3 ☎ 0779-83-1550 ✉ katsuyama@kinokuni.ac.jp

後援 勝山市教育委員会

